

広島港・福山港のセールスポイント

3つの視点と8つのメリット

1 物流改善

- ①陸上輸送コストの削減
- ②集荷から出向までのリードタイムの短縮
- ③コンテナターミナルでの待機時間の削減
- ④助成金制度

2 危機管理（BCP）

- ⑤代替輸送手段の確保

3 社会貢献

- ⑥ドライバー不足による問題の軽減
- ⑦CO₂の削減
- ⑧地元への愛着（帰属意識）の醸成

1 物流改善

① 陸上輸送コストの削減

最寄りの県内港を利用することにより、陸上輸送コストを削減することが可能となります。

② 出荷から出港までのリードタイムの短縮

最寄りの県内港を利用することにより、出荷から出港までのリードタイムが短縮できるため、出荷準備にも余裕ができ、急なオーダー変更等にも迅速かつ柔軟に対応が可能となります。

③ コンテナターミナルでの待機時間の解消

国内主要港においてはコンテナトラックがターミナルでの長時間待機を余儀なくされますが、県内港では、良好な道路アクセスも確保されており、短時間でスムーズな搬入・搬出が可能となります。



車両待機時間（最大）	
東京港	1 時間 3 8 分
横浜港	2 時間 3 2 分

出所：東京都トラック協会 海上コンテナ専門部会調査結果
（令和2年5月7日～28日）
神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会調査結果
（平成30年12月5日～26日）

④ 助成金制度

対象者	交付額（東南アジアの貨物）	交付額（東南アジア以外の国の貨物）
荷主	1TEU当たり1万円（最大100～500万円）	1TEU当たり5千円（最大100～500万円）
フォワーダー	1TEU当たり2,500円（最大20～100万円）	

助成金制度①

【広島港・福山港 輸出・輸入コンテナ補助制度】

対象期間中に、**新規利用** または **県外港からの利用転換**により、
広島港又は福山港で コンテナ貨物を **10TEU以上** 輸出入された場合

対象
期間

2021年4月1日 ~ 2022年 3月31日

広島港又は福山港を新たに利用した

荷主 に対して

さらに

1TEUあたり **5,000円**交付

東南アジア発着の貨物は

1TEUあたり **5,000円追加**交付

広島港又は福山港の利用を荷主に提案された

フォワード に対して

1TEUあたり **2,500円**交付

1事業者あたり最高

広島
港

100万円

福山
港

500万円

1事業者あたり最高

広島
港

20万円

福山
港

100万円

助成金制度②

【福山港コンテナ物流トライアル制度】

福山港を利用した新たな物流ルートの構築とその効果検証を行うため、
トライアル輸送にかかる経費に対して、

1事業あたり **最高100万円** を支援

対象
期間

2021年4月1日 ~ 2022年 3月31日

対象事業

- ① 福山港を利用した新たな物流ルートであること
- ② 国際海上コンテナ貨物であること
- ③ 福山港を利用することにより、物流面の改善効果・機能向上
(コスト・リードタイムの削除, 環境負荷低減, B C P 対応等) が見込まれること

支援内容

トライアル経費※に対して、1事業あたり**最高100万円**を支援
※海上運賃, 国内輸送費用, 荷役費用, 保管費用, 輸出入手続き・通関費用など
【募集事業数】 5事業 (予定)

2 危機管理（BCP）

⑤代替輸送手段の確保

自然災害が頻発・激甚化する傾向にある中、自然災害等の緊急事態に備えた代替輸送手段の1つとして県内港の利用も確保することで、企業BCPへの対応が可能となります。

■西日本豪雨災害（2018年7月）

内陸輸送ルート（JR・道路）の寸断



■台風19号（2019年10月）

阪神港の浸水被害



3 社会貢献

⑥ドライバー不足による問題の軽減

トラックドライバー不足の進展に伴い、輸送手配への支障や輸送コスト上昇、生産計画・納期の遅れなどが深刻な問題となる中、県内港の利用により輸送距離・時間の短縮が図られる、トラック輸送の回転率が向上することで、これら問題の軽減が期待できます。

■トラックドライバー需給の将来予測

出所：鉄道貨物協会

年度	2017	2020	2025	2028
ドライバー不足数	10.3万人	14.4万人	20.8万人	27.8万人

⑦CO2の削減

広島県内から神戸港までの輸送について、長距離トラック利用から県内港でのフィーダー船利用へモーダルシフトすることにより、輸送によるCO2の排出量を約1／3に削減できます。

⑧地元への愛着（帰属意識）の醸成

県内港利用の実現に向けて、地元行政（広島県）と官民一体となって取組を進めることで、従業員の地元「広島県」に対する愛着（帰属意識）がより深まったとの評価もいただいています。

